

向洋本町自主防災会だより

《 第 11 号 》

平成29年9月30日発行

避難 訓練

震度6弱 大地震発生

9月3日「午前8時45分震度6弱の大地震発生」を想定した青崎学区避難訓練が実施され、生活避難場所に指定されている青崎小学校に



359名の避難者(参加者)が集まりました。

青崎小学校へ
向かう本町の
参加者

生活避難場所での体験は「ダンボールベッド」や「簡易トイレ」の組み立てから始まりました。



9時25分、運営本部開設宣言がされ、生活避難場所のルールや情報広報・施設管理・食料物資・女性担当・救援救護など運営各班の役割と活動の説明がありました。

続いて、医師による「災害時医療救護活動」の講話、保健師の「エコノミクス症候群予防体操」の指導があって、訓練を終了しました。



防災フェアも同時開催

◎ 体育館

体育館ではAEDを使った応急救護体験や新聞紙でスリッパ、ビニール袋で合羽を作る防災工作教室が開かれました。さらにお湯を注いでアルファ化米の五目ご飯を作り、試食をしました。



防災工作教室

◎ グラウンド

グラウンドでは火災時の煙体験、水消火器を使った消火体験、消防車・パトカー・白バイの乗車体験、消防ヘリコプターによるグラウンドの人文字メッセージ確認などが行われました。



ヘリコプターから
撮影した人文字
メッセージ
AOSAKI

本町でも、防災・救急救命講習会

□ 第2回 防災講習会（7月29日）

□ 第2回 救急救命講習会（9月9日）



町内会、ボランティアバンク、向友クラブ、女性会、子ども会の各役員と会員有志が、防災講習に続いて救急救命講習を受けました。

特に「AED」の取り扱い実習は、昨年に続いて今回が2度目、受講者からは緊急時にも落ち着いて対応できる自信がついた、という声が聞かれました。